

人間の道をつくるなら、 動物の道もつくくれ。

ドイツの森が、そう語りかけている気がした。

ドイツの高速道路
「アウトバーン」の建設現場から、
動物たちと最新テクノロジーの
報告をします。

昨夜の雨に濡れた森は、ドイツの絵本
で見るとような深い緑色をしていた。
早朝の斜めの光の中に、ロールケーキ
を二つ並べたような橋が見えてきた。
通行人は、ウサギ、キツネ、シカ、そして
時にはオオカミ。それは、「アニマルブ
リッジ」と呼ばれる動物のための橋
道路で二つに分かれてしまった森と
森をつなぐ架け橋になる。

ドイツでは、高速道路の計画段階で
周辺の環境調査を行います。生態系を
守るために必要と研究者が判断すれ
ば、アニマルブリッジがつけられるので
す。そう言って微笑んだのは、がっし
りとした背中の現場マネージャーだ。
このエリアでは、8.5kmの短い区間に、
2本のアニマルブリッジがつけられる。
豊かな森と動物たちの住み家がある
ことを物語っている。

いまはまだコンクリートむき出しの橋
も、やがて緑で覆いつくされる。風が
渡り、白や薄紫の小さな花が揺れる。
橋の両端には木が植えられる。動物
たちの視界に、下の道を走る自動車
が入らないための配慮。どうか彼ら
が、いままでも変わらない生活を送れ
ますように、と願いを込めて。

この橋にも、これから土が運び込まれ
る。ダンプトラックHM300の仕事だ。
土を押し上げ、橋全体に敷き詰めてい
くのはブルドーザーD65PXi。土と
水はけをよくする小石を機重にも重
ねていく。1年後、2年後、草木がしっ
かりと根を張り、橋は自然の森に近づ
いていくことだろう。人間だけがつく
るのではない。太陽が、雨が、そして時
の流れが、アニマルブリッジを育ててく
れる。橋のためと汗を流す油圧ショ
ベルPC210LCiの黄色い腕にも
力がこもる。

実は、この現場では、新たな試みもほ
じまっていた。ドイツで初めて、「スマー
トコンストラクション」がテスト導入さ
れたのだ。「スマートコンストラクショ
ン」とは、すべての建設プロセスをデータで
つなぎ現場をデジタルトランスフォー
メーションしていくこと。たとえば、測
量はドローンで行われ、すぐに3D
データで見える化。建設機械の稼働
状況や位置情報をリアルタイム把握。
建設現場が抱える課題を解決してい
く。この現場でも、油圧ショベルが止まっ
ているムダな時間を分析し、トラックの
台数と配置を修正したことで生産性
が30%上がったという報告がされた。
環境という視点でも可能性が秘められ
る。たとえば、土の量を精緻に計算し、
切土と盛土を一定にすることで、山を
ムダに削らなくてすむ。

自動車も自動運転の社会を目指し、
IoT家電が生活を楽えていくように、
建設の現場も、大胆に変わらなければ
ならない。デジタルトランスフォーメー
ションによって、世界の現場を、未来の
現場へ。それは、コマツの意思だ。それ
は、コマツの使命だ。

※本記事はイメージです。

人のための
道具だから。
社会のための
道具だから。



KOMATSU D65PXi-18

KOMATSU PC210LCi-11/HM300-5

Global Teamwork
KOMATSU

コマツ
〒107-8414 東京都港区赤坂2-3-6
FAX 03-3543-6663
<https://home.komatsu.jp/>